

鹿昆のイチモンジセセリ作戦・2012年の第1号計画

-----いつ、どこで、何を、どのように調べるか-----

1月22日、田中章、中峯浩司・敦子、福田晴夫の4人が福田宅に集って、今年の実施計画を検討しました。問題は多いのですが、今年はずまず周年経過を中心に調べましょう。ご協力を期待します。

[調査ごよみ]

1～3月：越冬状況の調査

厳冬期でも若齢から終齢まで、幼虫は休眠せずに、暖かい時間帯に摂食しながら成長しています。蛹も交じっていると思われます。これらは3月末～4月上旬にはすべて蛹化して、4～5月に春型として一斉に羽化するのではなく、蛹化の時期がばらばらで4月下旬あたりまでずれ込む個体がいるようです。その実態を各地で調べます。

方法は巣や食痕を目当てにイネ科（カヤツリグサ科も要注意）の草を根気よく見ていくだけです。冬でも元気なタチスズメノヒエ、チガヤ、ススキなどが狙い目ですが、ムギ類にはつきません。

*幼虫探索会：2月26日（下記参照）

4～6月中旬：春型（越冬世代成虫）の調査

4月中旬～6月上旬に初見日と終見日の確認が重要です。個体数は少ないのですが、レンゲなど訪花植物の多い場所を探します。♀がどこで産卵するのか？ まさか山に登る個体はいない？

発生回数を知るため、初期（4月下旬ごろ）の♀から採卵あるいは野外で卵や若齢幼虫を採って、できるだけ室外で飼育します。同じように発生終期（6月上中旬）の♀からの次世代発生も追跡します。

*幼虫探索会：5月20日、南九州市川辺町～南さつま市加世田で実施の予定。（詳細は後日）

6月中旬～8月上旬：夏型（第1世代成虫）の調査

第1は山に登る成虫の謎解きです。昨年アサギマダラマーキング会（7月2日）時に見られた千貫平での個体

群を追います。紫尾山、霧島市なども期待の地域です。

第2は、8月下旬から秋にかけて激増するあの成虫の発生地つまり幼虫の居所の確認です。

8月中旬～11月：最も多い時期、第2～3・4？世代

移動個体がいるか？ 山に登るか？ 水平移動と垂直移動の実態を調べます。最終的に第何世代まで羽化するかも答えが出る時期です。

[調査地]

年間を通して観察するポイント（定点観察地）と、随時調べる地域に大別できますが、とくに前者が大事です。

○定点観察地

自分の居住地あるいは職場付近で、年間の状況を調べましょう。最小限、この時期にはいた、いなかった、でもOKです。

例えば：鹿児島市街地（提案者担当地：甲突川河畔、玉龍高校付近、原良団地など）、紫尾山と出水平野（橋元氏）、霧島山～国分干拓地（若松氏、金井氏）、川内川河口域（渋谷氏）、農業試験場（松比良氏）、フラワーパーク（花が多い：伊東氏）などはいかがでしょう。

○調査に出向く地域

例えば千貫平→池田湖畔→生見水田のようなルート（調査会実施）

○環境

水田地帯（早期栽培、普通栽培；休耕田、放棄田；広域水田、追田）、湿地・水辺（川べり、池沼）、畑作地帯、草原、樹林（クヌギ林、照葉樹林林縁）、人里・市街地、山岳地域（千貫平、紫尾山、霧島山など）、海岸付近など。

*離島はどれも重要ですが、とくに奄美大島のデータを集めたいです。もちろん沖縄県も期待します。

幼虫探索会：2月26日（日）

調査地：鹿児島湾沿いの鹿児島市南部（生見の水田地帯など）

集合場所：サン・ライフプールの南、サティワアイスcreamや焼肉なべしまなど店飲食店が並ぶエリアの駐車場（広いので南端のコンビニ・ファミマ前とします。）

集合時刻：9時30分

連絡先：中峯の携帯090-9568-1632

*上記4人は参加しますが、希望者は大歓迎です（予約申し込み不要）。

(2012年1月25日；福田・田中・中峯s)